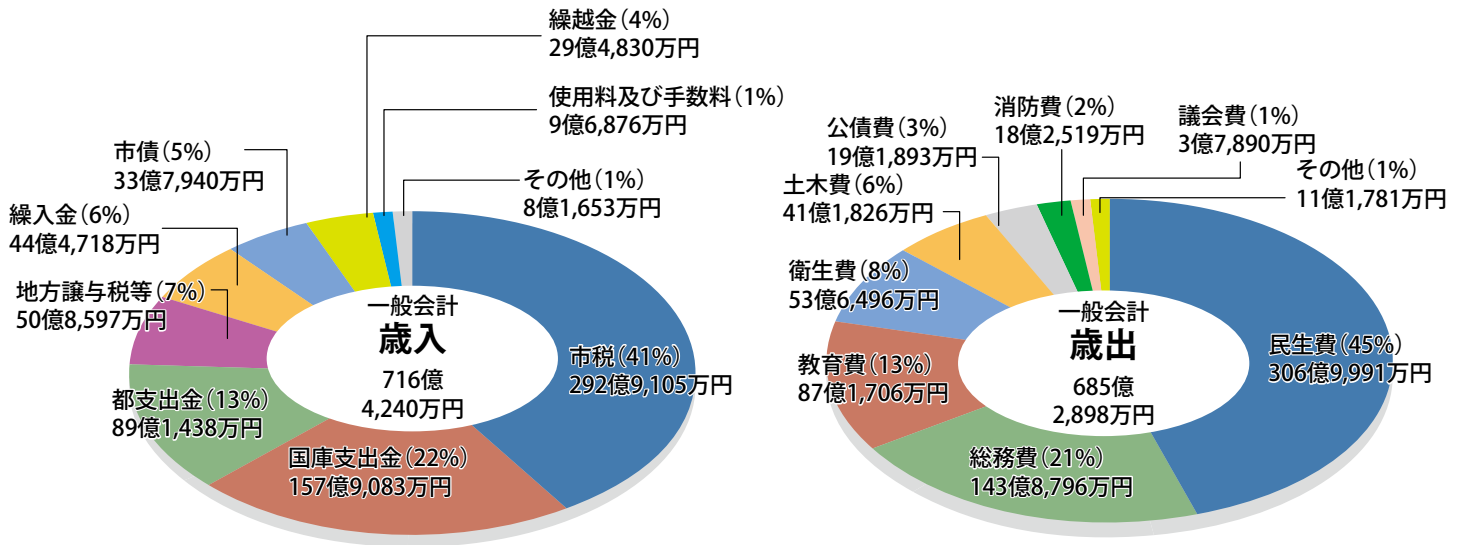


令和3年度 決算を認定

令和3年度に多摩市がお金を使った結果(決算)について、議長を除く全議員で構成する予算決算特別委員会において審査し、本会議で認定しました。

▶2~6ページ

令和3年度一般会計決算 款別構成グラフ



令和3年度 各会計別決算額

区分	歳入	歳出	差引額	
一般会計	716億4,240万円	685億2,898万円	31億1,342万円	
特別会計	国民健康保険	158億2,127万円	153億2,800万円	4億9,327万円
	介護保険	117億273万円	111億6,550万円	5億3,723万円
	後期高齢者医療	39億3,212万円	38億9,237万円	3,975万円
合計	1,030億9,852万円	989億1,485万円	41億8,367万円	

区分	決算額	
下水道事業会計	収益的収支	収入 33億9,388万円
		支出 28億2,421万円
	資本的収支	収入 1億1,127万円
		支出 3億1,257万円

※各会計で千円単位を四捨五入し、端数調整しています。

決算審査 こんなことが話題になりました

未来につなぐ平和のバトン

総務費 平和啓発事業

平和展の成果や今後の課題、特にリニューアル後のパルテノン多摩での開催について質疑がありました。入場者数は伸びたものの、展示会場に人を呼び込むさらなる努力が必要という指摘もありました。また、主体となる市民活動をどう次世代に引き継いでいくか、という課題も示されました。

被爆地派遣では、歴代派遣員の報告会参加などコロナ禍での工夫が評価されました。紙芝居や歌といった新たな試みに関する質疑もありました。

改修後のパルテノン多摩を市民のためにどう活かすか

総務費 複合文化施設等大規模改修事業

まず、改修されたパルテノン多摩を今後30年間使う上でのコンセプトを問う質疑があり、バリアフリー化や居心地のよさへの改善などの答弁がありました。また、コロナなど感染症対応、大ホールから会議室等への音漏れ対策の状況、オープンスタジオの使い方などについての質疑と要望がありました。さらに2階のロビーの使い方について、当初の目的としての市民の居場所ということからして、現状は十分ではないとの指摘がありました。